

11 月理事会

2025 年 11 月 27 日（木）19:00～

ZOOM 参加者 13 名

全国登山研究集会の概要報告

11/15～16 新大阪 YH で実施 泊り 67 名、日帰り約 50 名と大盛況。

大阪労山から 8 名が運営を担った。基調報告、3 つの分科会を実施。

(1) 基調報告は大阪労山ニュース P8 を参照

(2) 第一分科会（筋トレ）高橋理事長報告

・京都伏見山の会では、毎週大文字山（標高 465m）で歩く標高 500m/週を 2000 m/月続けることで会の活性化とリーダー育成が計られている。

・転倒防止研究会からの喚起で積雪期の下山中の転倒転落は冬山より危険

・兵庫県連盟の筋力トレーニングの効果報告

(3) 第二分科会（組織と教育）高桑報告

・栃木県野木山想会では会員募集の工夫として山のスマホアプリを活用して種々のアプリの使用方法などを適時山行中に使用して、山に興味を持ってもらう工夫が好評で会員拡大につながっている。

・大阪労山として大見事務局長より連盟各部会の取組みを通じて、連盟全体の横のつながりを活性化する試みで大阪労山を活性していく報告をした。

(4) 第三分科会（自然保護）沢村自然保護部長報告

・大阪労山は大峰山の立ち枯れ復活、里山調査、友ヶ島ゴミ調査の報告、

・奈良県の産廃問題、北陸新幹線京都延伸問題等々の報告。

事務局（大見）

(1) 総会準備

3 月の総会に向け、総会資料、各部議案書第一次案を年内に提出。

代議員の登録は昨年同様のフォームで行う。

(2) 労山カレンダー55 部 理事会後に配布

(3) 救助隊の活動について、近く会計 人事について協議予定

組織部（下窪）

(1) 2026 年度連盟費算出用各会組織数報告の状況報告で 11/30 が締切で 18 会が提出済。

自然保護委員会（澤村）

(1) 憲章の実践

- ・鳥獣・ライチョウ目撃レポート ライチョウ 11 件（昨年 29 件）
- ・倒木対策 5 件（同 9 件）
- ・定点写真観察活動 1 件（同 1 件）

(2) 山門水源の森観察 （八尾・中路さん担当）

11/1 実施 15 名参加。来年は 4 月で検討

(3) 二上山の産廃問題

奈良労山より情報あり。 12/7 シンポジウム予定。

(4) 友ヶ島 ごみ調査と観光

10/24 実施 10 名参加 来年は 4 月実施で検討中

女性委員会（榎本）

(1) 11 月例会はナン

(2) 交流会に向け、乾燥野菜の試食会を実施した

子どもの冒険学校（大見）

(1) 11/8 ハイキング明日香村で実施。子供 8 名、大人 9 名、スタッフ 7 名

(2) 1/25 雪遊び 比良イン谷 現在子供 13 人応募あり 20 人定員で募集中

海外委員会（大見）

(1) 次回 1 月に予定 内容未定（報告の予定）

(2) 今年度の集計中。来月報告予定

平和と登山委員会（大西）

(1) 11/3 輝け憲法！平和といのちと人権をおおさか総がかり集会

大阪市北区中之島公園 2,500 人がポテッカーを掲げてアピールした。

大阪労山からは 4 名（泉州、ぽっぽ、くまごろう）が参加

障登 P T（山下さん不在で報告なし）

教育遭難対策部（大見）

(1) 安全対策基金の来年度申請分について

今年も 15 万円を申請する。分配はハイキングセミナー・障登 P T は 2 万円、岩登り講習会は 1 万円、山の教室は 5 万円、初級登山学校・初級冬山登山学校は 1.5 万円、中級登山学校は 2 万円 で全国連盟へ申請する

(2) 冬山連絡会（担当：富永さん）12/25 理事会終了後に 45 分くらい

(3) 事故統計

集計遅れている。事故対策へ進められない。

(4) 教育遭難対策部会計としてのビーコン使用料は初級冬山の会計に移管して、
新規ビーコン購入資金としたい。**理事会承認案件**

(5) 転倒防止研究会より前方転倒事故防止用の全身ハーネス購入について、
理事会承認案件

ダイトレ実行委員会

当日天候悪い中キャンセルは少なかった。430 人（内労山は 70 名）、1 月に報告会をする。

セミナー（中尾）

11/26 開講 2 名は夏山セミナーより受講

次回理事会

12 月 25 日 理事会は 30 分で冬山連絡会を 1 時間、その後に忘年会を予定
(文責)高桑